

# 自宅へ帰るということ



## —がん患者の在宅移行を目指して—

熊本県在宅ケア研究会は、在宅ケアに関わる専門職が集まり、終末期がんや難病の患者さん、認知症の方などが、住み慣れた自宅で療養できるよう、在宅療養の推進とケアネットワーク作りを目的に活動をしています。

今回のフォーラムでは、実際に病院から自宅に帰り、在宅療養を続けられている終末期がんの患者さんの事例を紹介し、事例検討と意見交換を行います。

皆様と一緒に「自宅へ帰ること」の意味を考え、在宅療養に価値をおく機会になればと考えております。多くの方のご参加をお待ちしております

日時：平成23年1月29日（土） 14:00～16:00（受付：13:30～）

会場：熊本大学大学院生命科学研究部(医学部保健学科) E棟506教室

熊本市九品寺4-24-1 TEL: 096-373-5675

対象：在宅療養に関心のある保健医療福祉従事者、患者さんやご家族 先着100名

内容：終末期がん患者さんの在宅療養の事例検討と意見交換

シンポジスト：急性期病院の看護師・訪問看護師・ケアマネジャー

在宅療養支援診療所の医師・在宅療養を経験した患者さんご家族

参加費：無料

参加希望の方は、以下の内容をご記入のうえ、

①参加者氏名 ②連絡先 ③職種（患者さん・ご家族の場合は、患者本人か家族かを記入）

メール（[kayomatu@kumamoto-u.ac.jp](mailto:kayomatu@kumamoto-u.ac.jp)）  
またはFAX（096-373-5675）へお申込みください。（担当者：熊本大学大学院生命科学研究部 看護学講座 松本佳代）

申し込み締め切り：  
1月21日（金）

